

全国の家庭に、良い子に、おくるこころよい感動と笑い！

ベニス国際児童映画祭グラン・プリ受賞
伊太利教育文化委員会ドラゴン賞受賞
仏国サンドリヨン児童映画クラブ大賞受賞
第二回青少年映画国際インスティテュート会議
「最優秀監督賞」「最優秀製作者賞」受賞

文 部 省 選 定

お姉さんといつこよ

N H K 連 続
放 送 劇 映 画 化

伊 吹 友 木 子
船 津 た か ひ で
田 中 よ し の り
浦 辺 糸 子
ト ニ ー ・ 谷



製 作	音 楽	撮 影	監 督	脚 色	原 作
村 山 英 治	芥 川 也 寸 志	木 塚 誠 一	青 山 通 春	片 岡 薫	筒 井 敬 介

全 6 卷

製 作 桜 映 画 社 配 給 教 育 映 画 配 給 社



毎日いんかばかりしています。お姉さんとお兄ちゃんもタツちゃんはやっぱり仲よしです。三人で仲よくお買物のとき、お兄ちゃんはやつとずるをしてタツちゃんの三輪車にのつていつてしまったので、タツちゃんは重い買物カゴを下げて帰って、こっそり風呂場にかくれていると、帰ってきたお姉さんやお兄ちゃんが心配して大さわぎしました。

お兄ちゃんはんわんわん泣き出しました。タツちゃんもえんえん泣いてしまいました。そこへ、おばあさんからはリングがとどき、お父さんからはお手紙がきました。お父さんが長かった出張から帰ってくるのです。お母さんの病氣もよくなってきたそうです。三人はお父さんが旅先からもらって帰るというお犬のウワサに夢になって、電車の駅へお父さんを迎えにいそぎました。

(価格一〇、〇〇〇円)

関東支社	東京都中央区銀座西六ノ三朝日ビル 電話 (57) 1793・4559・0597番	関西支社	大阪市北区中之島朝日ビル 電話 (23) 7911番
東北出張所	福島市上町六糧運ビル 電話 5796番	四国出張所	高松市浜の町二ノ 電話 7652番
九州支社	福岡市上呉服町三新会館 電話 (3) 2316番	中部支社	名古屋市中村区堀内町四ノ一毎日名古屋会館 電話 (55) 5778番
北海道支社	札幌市北二条西三丁目大北モータースビル 電話 (3) 2502番	北陸出張所	金沢市下楠木畠二九香林坊ビル 電話 (3) 2328番
本 社 東京都中央区銀座西六ノ三 朝日ビル		電 話 (57) 4786・4787・4788番	

○ベニス発ロイター

日本映画「お姉さんといっしょ」は八月二十一日夜第九回ベニス映画祭児童映画展でグラン・プリを受賞した。同映画が子供の家庭生活を深い愛情をもつて描いている点を買われたものである。

○ポポロ紙（伊）

少年の極めて微妙な心理については、日本映画が、最も生き生きとした印象を与えた。年頃の少女と一緒に子供たちだけで留守居をする十才未満の二人の少年の数日の生活を再現しているというだけの話であるが、その再現は全く自然に行われた。

第九回ベニス児童映画祭のグラン・プリは日本映画「お姉さんといっしょ」に与えられた。それは次のような理由によつてである。

登場人物の自然さと、全国の子供たちのしつかりとした心の結びつきに光を与えた——ことに對してである。

ものがつたり
どこの家庭でも兄弟というものは、けんかばかりしていますが、でも、悪いことをするときには仲よしですよ。
お兄ちゃんはお姉ちゃんにミシンの椅子をもつてこさせて、時計の針を、「えいッ」とお三時にしてしまいました。
翌朝、あわてん坊のお兄ちゃんは、「おくれたッ」と思ふ学校へまるで機関車のようにかけていくと、まだ誰もきていなかったのです。
さて、信州のおばあちゃんが田舎のおみやげをいっぱいもつてきてくれました。
タツちゃんもお兄ちゃんも、何から何までみんなおばあちゃんにやらせてしまいます。お姉さんはせっかくの教育がもとへもどつてしまったと思つてブンブンです。でも、そのお姉さんもおばあさんにおねだりして、ひさしふりにお友だちと銀座へ出るのです。
その留守に、お兄ちゃんはいまいことおばあさんときふせてアイスクャンデーをたべすぎおなかをこわしてしまいました。
いよいよおばあちゃんも信州へ帰る日に、タツちゃんはお父さんの名刺の空箱にしまつておいた大事なヒツツをあげました。
おばあさんが電車の中でこっそり開けてみると、ドングリや化粧タイルのかげらやミシンのボビンが宝物のように入つていました。
おばあさんがいなくなつてしまつたある日、タツちゃんは道の上で、信州からオート三輪のつてきたおもしろいリンゴ売りの小父さんにあつたのです。
タツちゃんは夢中であとをついていきました。あとを追つていけば、おばあさんとお母さんのいる信州へすぐいけそうです。
町角で日がぐれかけると、さすがのタツちゃんも「電気がついても表にいと入れてあげないわよ」というお姉さんの声を思出してかけ出しました。暗いさまたま道を急ぐのは、とても冒険でした。こわい思ひもしましたよ。でも利口なタツちゃんには迷ひ子にならずにどうや

グラン・プリにつづいて……

さきに「お姉さんといっしょ」はベニス国際児童映画祭で、グラン・プリを受賞して、日本の児童映画が、イギリス・フランス・ソ連・チェコの児童映画にひけをとらないことを立証した。

この映画は、これまでの多くの児童劇映画のように、特別な子を主人公にしたものでなく、私たちの周囲にいくらでもいる子供たちの平凡な日常生活を深い愛情をもって描いたもので、グラン・プリにつづいて、伊太利教育文化委員会からドラゴン賞

仏国サンドリヨン児童映画クラブから大賞

第二回青少年映画国際インスティテュート会議において「最優秀監督賞」「最優秀製作者賞」を受賞した。

この映画の児童観の新しさと根底にあるヒューマニズムが広く理解され、共感をよんだものと思われる。

★	ス	タ	ッ	フ	
製	作		村	山	英 治
原	作		筒	井	敬 介
脚	色		片	岡	薫
監	督		青	山	通 春
★	キ	ャ	ス	ト	
タ	ッ	ち	ゃ	ん	(五才)..... 船津たかひで
お	兄	ち	ゃ	ん	(八才)..... 田中よしのり
お	姉	さ	ん		伊吹友木子
お	ば	あ	さ	ん	 浦 辺 粂 子
リ	ン	ゴ	売	り	の小父さん..... ト ニ ー ・ 谷
ト	キ	子	ち	ゃ	んのお母さん..... 忍
					節 子



お姉さんといっしょ